

今回は連載100回目ということで、それにちなんだ話題を。

思い起こせば9年前に本誌・昆編集長から「好きなことを書いていいから」とほだされ、3000字に思いを込めてメールで送ったのが始まりだった。2本目は考えていなかったが、「○日までお願いします」と、思いもしなかったメールが来て継続が決まり現在に至っている。

きっかけは私が副責任者を務めるフリーメールに編集長をお誘いしたのが始まりだった。このフリーメールは150名ほどの参加者で遺伝子組み換えから国内農業、はたまた国際関係まで話題にして生産者を中心に最後はお決まりの金髪・ブルーアイがメンバーになってワイワイ・ガヤガヤやっている。

なんでも編集長いわく「君より頭のいい農業生産者はたくさんいるが、それを活字にできる者は限られる」とあふれんばかりの称賛をいただいたので、日本の明るい将来のために覚悟を決めた。

米国消費者の多くはGMを知らないが

有機農業や自然農法などの継続回復できない農（業なし）を語ることばできても、穀物を中心とした土地利用型農業を語れる生産者はほとんどいない。もつと本音で言えば私みたいにKKY（完璧空気読まない）で自己主張できる生産者はあまりいないことの証明でもある。

ちなみにこのフリーメールの会社はGMO、いつも乗ってる車はシエビーでGM製だ。やはり組み換え（GM）とは縁が切れないようである。

当然KKYなので自分のコラムに書いたことは200%正しいと考えている。とくに北海道農業の見本は米国だ。決してカナダ、ニュージーランド、ヨーロッパでもなければ中国でもオーストラリアでもない。米国の現在は日本の未来だからだ。よって国内生産者の遺伝子組み換え作物に対する無知、無能ぶりには呆れるばかりだ。「バカで愚かで役立たずの生きている糞尿製造機の利用者だ」とこき落したいところだが、ちよつと事情が違うようだ。

なぜならこの組み換え技術を米国人生産者がどれだけ科学的に理解しているかと問えば、恐ろしい結果になる。米国人は日本人より無知で無

連載100回達成！ Vol.100 やはり「GM」とは縁が切れない



宮井能雅

1958年3月、北海道長沼町生まれ。現在、同地で水田110haに麦50ha、大豆60haを作付けする。大学を1カ月で中退後、農業を継ぐ。子ども時代から米国の農業に憧れ、後年、オーストラリアや米国での農業体験を通して、その思いをさらに強めていく。機械施設のほとんどは、米国のジョンディア代理店から直接購入。また、遺伝子組み換え大豆の栽培を自ら明かしたことで、反対派の批判の対象になっている。

Illustration by Kazushige Akita

オレにも 言わせる！

北海道長沼発 ヒール・ミヤイの憎まれ口通信

能か？ それも違う。一番の違いは安全とは国家に義務を果たし、その結果として担保されるものだという考え方を子供時から学んでいる点だ。

当たり前に教室の入りに星条旗がある。現地の中国系や日本語学校に行っても同じ状況だ。日本国内の朝鮮系学校に掲げられる糖尿系とは明らかに違う。以前自分の子供たちが通う学校で、私が北海道のG

Mワールドを語ったとき、金髪・ブルーアイの米国人がこう聞いてきた。「それって安全な食べ物なの?」

そう、米国の消費者の多くは組み換えを知らないのです。USDA

(米国農務省)とFDA(連邦食品医薬品局)で安全性審査をされてマーケットに出てますと言うと米国人は「ジャー問題なしだ」で納得してくれたが、日本人、朝鮮系、ヨーロッパ系は納得しない顔をしていた。

基本的に国家を信用できない輩に、信用しなさい!と言うこと自体無理があることはわかるが、ではあなたたちの日本のパスポートに書かれた「日本国民である: 同人に必要な保護扶助を与えられるよう、関係の諸官に要請する」を外すべきだ。もしくは無国籍者として永遠にゾンビのようにさ迷うのがお似合いだ。

反米主義を唱えるのはカッコ良いと考えている一見マトモそうな輩が全国にウンザリするほどいるが、あなたたちの親や祖父がどれだけ食料などの援助を受けた結果としていまの自分があるのか、改めて学校で学ばなかった教科書最後の10ページにある現代史を読んでください。

ウィッキー各語版から 見えてくるもの

では組み換えの情報も含め、本当

に日本は正しい情報を入手可能なのか? 現在では調べ物の多くをインターネットから利用することができ。では何語で書かれているのか? そうです。日本語です。

この日本語で書かれた情報が本当に正しくて選択可能な状態なのか疑ったことはありませんか? ウィッキー(Wikipedia)が100%正しいかどうかは別にして、比較するにも便利なツールであることに間違いはない。

このウィッキー、モバイル版の記事数は102万2556(7月15日現在)になる。ほーすごい数だなーと考えるのはまだ早い。イングリッシュ版だと519万4460になる。日本語の5倍の情報量だ。950万人が使うスウェーデン語は日本の3倍の330万。人口500万のノルウェー語は336万、米国ミネソタ産のデュラム小麦からできるパスタとアルマーニ以外特産がないイタリアでも128万だ。

情報は多くあったほうが良いに決まってる。100万あれば十分だ!と中途半端なことを主張することとは、米国となんでもありで戦ったベトナムの114万よりも閉鎖されたお頭であるご自分で証明したことになる。

ちなみにもつと閉鎖された社会の

北京語は90万になる。その証拠に日本語で遺伝子組み換え作物から中国ウィッキーで「起因改造植物」を検索して数行で終了だ。つまり中国人に組み換え作物を教育することは難しいことになるのだらう。

ポケモンGOは なぜ海外先行発売なのか

日本人、とくに首都圏の人間が間違っているのは、情報不足や情報偏差のひどさを自覚していない人たちが多すぎるのだらう。所詮、日本語なのだ。世界に通用するわけでもないし、理解もされない。なぜポケモンGOが日本よりも米国で発売されたのか? なぜLINEが日本よりもNYSE(ニューヨーク証券取引所)で先に上場しなければならなかったのか? 日本発信は危険で利益を上げることができない証明でもある。

一番不愉快な響きに「漢字」がある。英語で聞かれてもチャイニーズ・キャラクターだとは決して言わない。Kannjiと言うべきである。

なぜ古代中国由来の文化を踏襲しなければならぬのかが根本の疑問だ。韓国、ベトナムはとくに漢字の使用は止めた。漢字を使い続ける限り、あちらさんにとって日本は子分に思えてくるのは当然だらう。

ではほかに世界を知る方法はあるのか? 米国のYahooが良いだらう。フロントページに写真付きの記事があるのでイングリッシュができなくても簡単に閲覧できる。

興味深いのは飛行機ネタが多い点と、3日に一度くらいの頻度で日本ネタがあることだ。メインランドCNNで1週間テレビを見ても日本のことを放送することはまれであるがYahooはやってくれる。日本よりも半日程度早く書かれることも珍しくない。この点はすごい。

それにしても親というのは大変だ。子供の教育費も捻出しなければならぬ。イングリッシュは大切だと昔から決まっているのに子供がでるのは文部科学省推薦の外国語のひとつである英語で、できあがったガキどもは親の矛盾をそのまま背負った反米主義者たちだ。

あーあ、こんな連中とこれからも付き合わなければならないのが一番の無駄である。まっ、サービス業ではない農業だから不必要に人と会話する必要はないけどね。

で、あなたの英語の能力はどうなんだって? まっ、金髪・ブルーアイと農業と愛を語ったら私の右に出るものはいないね。ということでは101回目からはイングリッシュで書く……かな。